

&lt;ご案内&gt;

## 病的ギャンブラーとギャンブル愛好家を峻別するものは何か

LINEアプリ・セルフスクリーニングテストを用いた病的ギャンブラーの臨床的特徴に関する研究

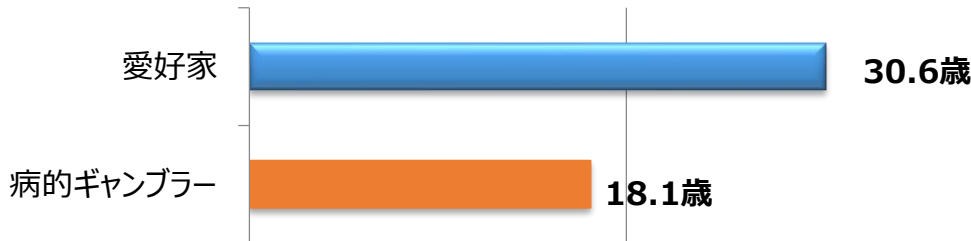
日本アルコール薬物医学会雑誌 12月号 論文掲載予定

### ◆開発に至った背景

我が国で、厚生労働省等がギャンブル依存症罹患率を調査する際に最も使用されるのが、SOGS (South Oaks Gambling Screen) と呼ばれるスクリーニングテストです。SOGSは、信頼性妥当性は確立されていますが、設問数が多く、一部でスコアリングに用いない項目があるなど、簡便とはいえない状況です。また、SOGSの妥当性は、ギャンブル依存症者と一般の人たちとの比較によって検討されていることから、過剰診断となりやすいと指摘がありました。そこで当会では、自助グループの協力を得て、**病的ギャンブラー（ギャンブル依存症者）とギャンブル愛好家が弁別**できるよう、ギャンブルに伴う行動の比較を行い、手軽にできる簡易スクリーニングテストを開発致しました。スクリーニングテストは汎用性を持たせるため、(株)NTTデータと共同でLINEアプリを使ったギャンブル依存症の簡易アセスメントツールを制作し無料でダウンロードして頂けるようになっています。論文発表に先立ち、マスコミの皆様に向け基礎研究の特徴的データをお伝えいたしますので、広報にご協力頂き、ギャンブル愛好家が依存症に進行してしまわぬよう啓発にお力添え頂ければ幸甚です。

病的ギャンブラー	n=159
ギャンブル愛好家	n=190

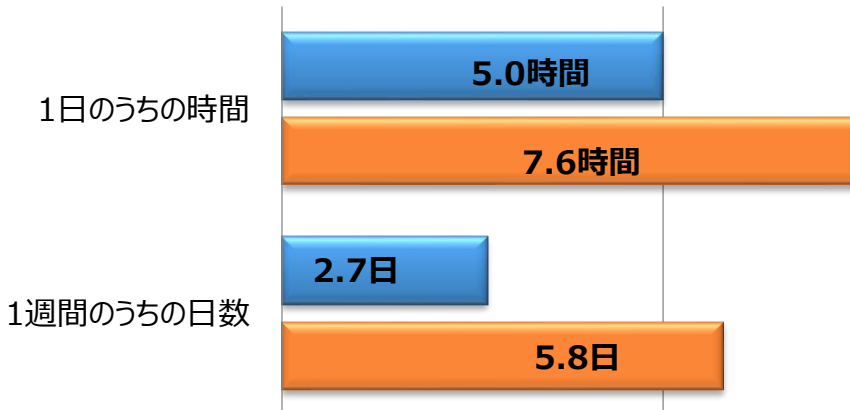
### ◆ギャンブル開始年齢の平均



厚生労働省の発表では、日本のギャンブル依存症のおよそ8割はパチンコ依存症と言われており、現在、パチンコの解禁年齢だけが18歳となっていることを鑑みると、国にパチンコの解禁年齢を再検討していただく必要性を感じています。また、予防教育の適齢期は高校生と考えます。

### ◆ギャンブルに最も費やしていた時期の時間

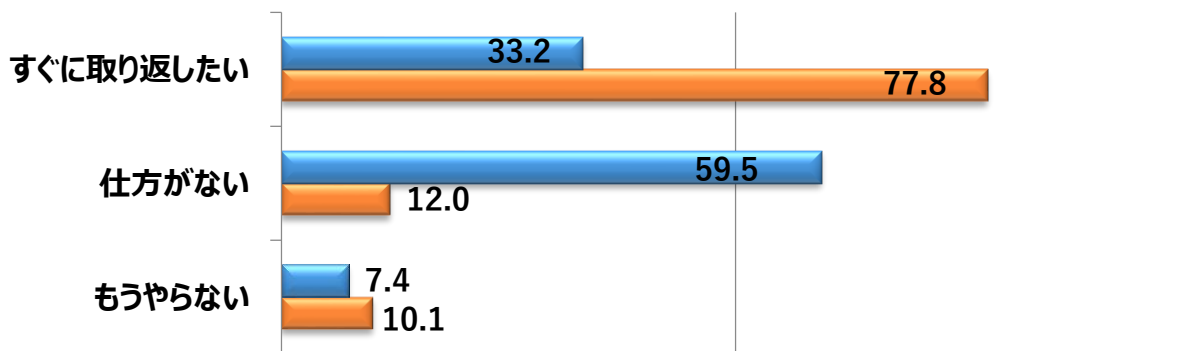
●上段：愛好家 下段：病的ギャンブラー



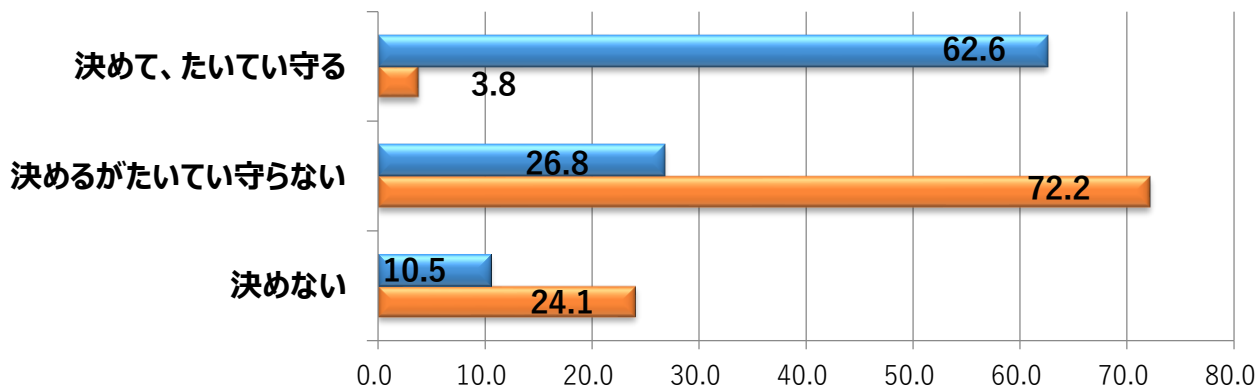
<ギャンブルに対する考え方や態度に関する質問>

\*以下全て、上段：愛好家 下段：病的ギャンブラー 単位（%）

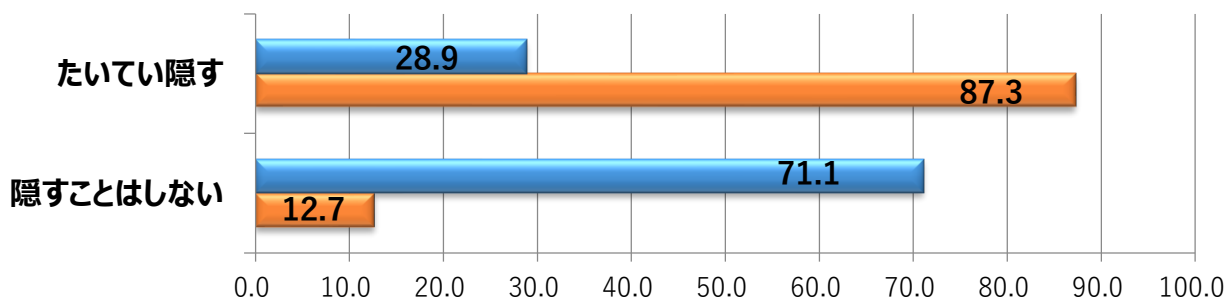
◆ギャンブルに負けた時の考え方としてどれが一番近いですか？



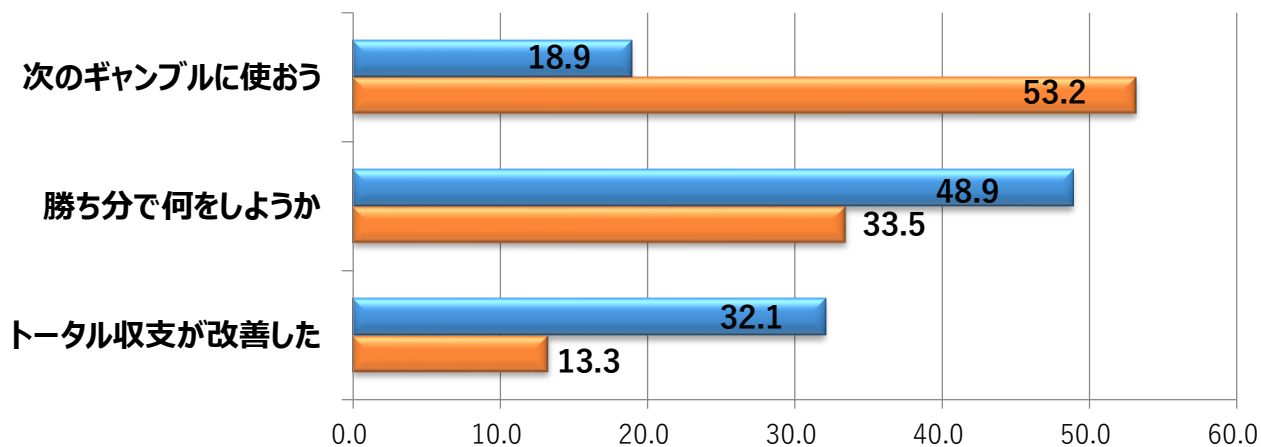
◆ギャンブルをするときに予算や時間の制限を決めますか？



◆ギャンブルをしたことを誰かに隠すことがありますか？



◆ギャンブルに勝った時の考え方としてどれが一番近いですか？



# ◆重要4項目 合言葉は **LOST**

今回の研究のために用意したオリジナルの質問は合計で22問あり内訳は以下の通りです。

- < 7問 > 性別や年代、これまで経験したギャンブルの種類など、基本的情報に関する質問
- < 10問 > ギャンブルに対する考え方や態度などの主観的な態度を評価する内容
- < 5問 > ギャンブルによる生活機能、社会的機能の障害を、直近1か月および生涯において最もギャンブルにお金を費やしていた時期の2つの時点に関してその有無を尋ねる

これらデータを解析し、答えやすい2択問題に改編し、再び解析を加えて

**病的ギャンブラーとギャンブル愛好家を弁別する重要4項目を抽出し「LOST」と名付けました。**

直近1年間のギャンブル経験にあてはめて、二つ以上に「はい」と答えたなら、ギャンブル依存症の危険度が高いと自己診断できます。

## Limitless

ギャンブルをするときには予算や時間の制限を決めない、決めても守れない

## Once again

ギャンブルに勝ったときに『次のギャンブルに使おう』と考える

## Secret

ギャンブルをしたことを誰かに隠す

## Take money back

ギャンブルに負けたときにすぐに取り返したいと思う

### ◆共同研究者

- ・公益社団法人 ギャンブル依存症問題を考える会 田中 紀子
- ・国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 松本 俊彦  
薬物依存研究部 部長／病院 薬物依存症センター センター長
- ・筑波大学医学医療系 社会精神保健学 准教授 森田 展彰
- ・株式会社 N T T データ ITサービス・ペイメント事業本部 ライフデジタル事業部 木村 智和

### ◆その他のお知らせ

この度、公益社団法人 ギャンブル依存症問題を考える会 代表の田中紀子は、バチカン市国から招聘を受け、世界の薬物と依存症問題の国際会議に出席します。世界各国から、薬物問題及び依存症について発表しますが、日本のトピックには「**ギャンブル依存症**」が選ばれ、日本のギャンブル依存症対策の現状等についてご報告させて頂くこととなりました。

### INTERNATIONAL CONFERENCE:

#### *Drugs and Addictions: An Obstacle to Integral Human Development*

*29-30 November – 1 December 2018*

*New Hall of the Synod – Vatican City*

**THURSDAY, 29 NOVEMBER 2018**

### ◆本件のお問い合わせ

ギャンブル依存症問題を考える会 e-mail : info@scga.jp 代表 : 田中 紀子  
TEL : 03-3555-1725 FAX 03-6222-8128